



▲大町の特設ステージで、十二所天鳴太鼓の  
子供たちが力強いばちさばきを披露



▲軽快なリズムでお祭りムードを盛り上げた、  
小学生によるゴールデンパレード



▲全県一ノッポなハシゴ車に乗って、子供た  
ちは大喜び

夏のフィナーレを飾る“大館大文字まつり”が8月16日行われ、約17万人の人出でにぎわいました。

正午の開会式に続いて、小学生によるゴールデンパレードがスタート。歩行者天国となった大町一御成町間では、路上落書きコーナーや曲わっぱ太鼓、ファッションショーなど各種イベントが繰り広げられました。夕暮れ間近になると4,000人参加の大文字おどりが目抜き通りを踊りの波で埋めつくし、ぶっかけみこしの登場で祭りは最高潮。大文字焼きと花火が夜空を彩ると、行く夏を惜しむかのように、火と光の競演に見入っていました。

▶フィナーレを飾った鳳凰山の  
大文字焼きと花火大会



# '89 大文字まつり

去りゆく夏を振り返る



▲迫力満点！ぶっかけみこし



▲華麗な踊りで、沿道の観客を魅了した  
大文字おどり